

# 京 都 大 学

## 医 療 技 術 短 期 大 学 部 紀 要

第 3 号

1983 年

### 目 次

川井 浩：阪口先生を偲んで	1
総 説	
濱 弘道：老化による整形外科的疾患とその治療	5
笠原 勝幸, 山室 隆夫, 濱島 義博：骨巨細胞腫について	13
原 著	
宮下 正, 内田耕太郎：外科からみた慢性膝炎の治療成績	27
Kasahara, K., Akagi, M., Tanaka, H., Matsumoto, M., Suzuki, S., Miki, T., Kotoura, Y., Yamamuro, T. and Yamamoto, I.: Elevated PTH Level in the Fluid of a Solitary Bone Cyst—A Case Report—	35
岩井 一義, 松本 保子, 熊田 浩子, 中村 泰子：好塩基球の直接算定法の検討	42
木戸上八重子, 近田 敬子, 横山 文子, 丸山 咲野, 三浦 昌子, 竹之熊淑子, 森 美春：洗髪労作度に影響を及ぼす要因の検討(1)——美容室用洗髪 椅子の使用により労作度を軽減させられるか——	47
近田 敬子, 木戸上八重子, 横山 文子, 丸山 咲野, 三浦 昌子, 竹之熊淑子, 森 美春：洗髪労作度に影響を及ぼす要因の検討(2)——冬の半坐位洗 髪代謝を高めている因子は何か——	55
三井 政子：指尖容積脈波による母体循環動態からみた分娩時の安楽体位	64
加茂 映子：エイドリアン・リッチの第3詩集——隔りの意識についての一考察——	70
石井 誠士：自由の二律背反——カントにおける自由の問題(一)——	85
投稿規定	107
編集後記	

## 投 稿 規 定

(昭和58年10月19日改定)

**投 稿**：投稿論文は、総説、原著、短報などとし、本短期大学部教職員（元教職員を含む）が著者、または共著者であるものに限る。

**論文の受付**：原稿（表紙、本文、図、表など）はコピー2部を添え（計3部）、当該年度の6月30日までに、編集委員会に届ける。編集委員会に届けられた日をもって受付日とする。編集委員会は、割付けおよび全体としての統一などをはかるために、著者に対し表現方法その他の変更、削除などを求めることがある。

**原稿の書き方**：原稿は、次の規定に従って書かれたものであること。

1. 表紙（原稿第一枚目）の前半には表題、著者名、所属およびその所在地、ランニング・タイトルをこの順に従って書く。なお、外国語原稿の場合は、上記各項の日本語を併記する。

後半には原稿の枚数、図、表の数、別刷希望部数を書く。著者の所属の表記は、筆頭者は無記号、共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に\*、\*\*、……印をつける。

2. 原稿には、英文の表題、著者名、所属、抄録（20行、または200 words程度）およびKey words（8語以内）をつける。著者名の姓は、大文字で表記する。
3. 欧文原稿および英文抄録は、必ずダブル・スペースでタイプする。また、当該国人が読んで、正確、明快に理解できるものでなければならない。

和文原稿は原則として、常用漢字、ひらがな、現代かなづかいを用い、B5版の400字詰横書き（論文の内容上とくに必要な場合は縦書き）原稿用紙に清書する。外国語固有名詞（人名など）は原語を、一般に日本語化された外国語は、片かなを用いる。度量衡は、CGS単位とする。

4. 論文の項目の区分は、原則として下記の例に従う。

大項目……無記号で下線をつけ、前を一行あける。原著論文の緒言 (INTRODUCTION)、材料 (MATERIALS)、方法 (METHODS)、結果 (RESULTS)、考察 (DISCUSSION) などが相当する。

小項目……以下の順で使用する。

1., 2. ……行の第1字目に記す。

1), 2) ……行の第2字目に記す。

a., b. ……行の第2字目に記す。

a), b) ……行の第3字目に記す。

5. 図 (Figure) および表 (Table) には、それぞれ別の通し番号をつける。図版 (Plate) や写真（原則として白黒）は、図として取り扱う。

図はなるべく原寸大とし、明瞭でそのまま印刷できるものとする。図版は（14×20 cm）以内にまとめる。図は台紙（20×26 cm以下）に貼り、さらに薄紙のカバーをつける。カバーには筆頭者名、ランニング・タイトル、図の通し番号を記入する。

図、表の説明文は、まとめて原稿の末尾につけ、原稿本文中の欄外余白部に、図、表の挿入位置を朱記し明示する。

6. 謝辞は、本文の末尾に入れる。
7. 文献は、下記の要領に従い、引用順に配列し、本文の末尾に一括記載する。外国語文献は必ずタイプする。

本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に、その文献番号を<sup>1)</sup>, <sup>1,3,6)</sup>, <sup>2-5)</sup>のように記す。

雑誌の場合

全著者名、表題、掲載誌名、巻数（必要であれば号数）、頁数（頁-頁）、発行年（西暦）の順に記す。雑誌略名は、日本医学雑誌略名表（日本医学図書館協会編）および Index Medicus に従う。

〔例〕

- 1) Sakaguchi, K. & Jameson, E.W.: Two new fleas from Japan. J. Med. Zool. 10:

156-162, 1959.

- 2) 菅沼美奈子, 内山和美, 三井政子: 性周期記録表の試み. 母性衛生 19(1): 76-82, 1978.

単行本の場合

著者名, (表題), 書名 (版数). (編者名), 引用頁 (頁-頁) または (総頁数), 発行所, 発行地, 発行年 (西暦) の順に記す。

[例]

- 1) Wintrobe, M.M.: The erythrocyte. In Clinical Hematology, 7th ed., p. 80-220, Lea and Febiger, Philadelphia, 1974.
- 2) Schwartz, T.W. & Tager, H.S.: Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In Gut Hormones, 2nd ed., ed. Bloom, S.R. & Polak, J.M., p. 202-205, Churchill Livingstone, Edinburgh, London, Melbourne, New York, 1981.
- 3) Hodgkin, A.L.: The Conduction of the Nervous Impulse. 108 P., Liverpool Univ.

Press, Liverpool, 1964.

- 4) 富田 仁: 救急時検査の手技と解釈, アミラーゼ. 「検査診断マニュアル (第1版)」富田 仁, 熊谷直家, 内田耕太郎編, p. 96-99, メヂカルフレンド社, 東京, 1978.
- 5) 城戸幡太郎: 文化心理学の探究. 390 P., 国土社, 東京, 1970.

**原稿の枚数:** 原著論文, 総説は, 原則として図, 表などを含め刷り上り10頁以内, 短報などは同じく4頁以内とする。なお, 本誌1頁は, 400字詰原稿用紙約4枚分に相当する。図は, 手札大 (9×13 cm) が原稿用紙約2枚分に相当する。

**校 正:** 著者による校正は, 再校までとし, 校正時における内容の変更や追加は認めない。

**印 刷 費:** 原図の描画を外部に依頼するときや, カラー写真印刷を希望するときなどは, その経費は著者の負担とする。

**別 刷:** 別刷は50部単位で注文し, その経費は著者の負担とする。

## 編集後記

「ノミの先生」あるいは「蝶ネクタイの先生」の愛称で、全学の学生、教職員に敬愛された前編集委員長、阪口吉蔵教授が急逝されました。本号は、巻頭に故阪口教授の御遺影と御遺稿（京都大学新聞編集部の御好意による）ならびに川井浩教授の追悼文を掲載しました。本紀要創刊以来の先生の御尽力に衷心より感謝の意を表し、先生の御遺徳を偲び、御冥福をお祈り申し上げます。編集委員一同、紀要の今後の発展のために、一層の努力を傾倒する所存であります。

今回、投稿規定の一部改定を行ない、投稿規定を本誌に掲載することにしました。次号以降の原稿は、この規定を厳守し、奮って御投稿下さるよう御願ひ致します。

昭和58年10月

紀要編集委員長	小西昭	
紀要編集委員	近田敬子	藤原哲司
	加茂映子	岸下雅道
	松永正人	大橋ミツ
	齋明寺央	菅沼美奈子
	高橋清之	(ABC順)

---

## 京都大学医療技術短期大学部紀要 第3号

Annual Reports of the College of Medical  
Technology, Kyoto University No. 3

昭和59年2月29日 印刷・発行

印刷 中西印刷株式会社  
京都市上京区下立売通小川東入  
発行 京都大学医療技術短期大学部  
京都市左京区聖護院川原町53

---

**ANNUAL REPORTS**  
**OF**  
**THE COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY,**  
**KYOTO UNIVERSITY**

**No. 3**

**1983**

---

**CONTENTS**

Kawai, H.: In memory of the late Professor K. Sakaguchi.....	1
<b>Reviews</b>	
Hama, H.: Treatment of Orthopedic Diseases due to Ageing .....	5
Kasahara, K., Yamamuro, T. and Hamashima, Y.: Giant Cell Tumors of Bone.....	13
<b>Originals</b>	
Miyashita, T. and Uchida, K.: Follow-up Study after Surgery for Chronic Pancreatitis.....	27
Kasahara, K., Akagi, M., Tanaka, H., Matsumoto, M., Suzuki, S., Miki, T., Kotoura, Y., Yamamuro, T. and Yamamoto, I.: Elevated PTH Level in the Fluid of a Solitary Bone Cyst --A Case Report-- .....	35
Iwai, K., Matsumoto, Y., Kumada, H. and Nakamura, Y.: The Direct Method for Absolute Basophil Leucocyte Count .....	42
Kidou, Y., Chikata, K., Yakoyama, F., Maruyama, S., Miura, M., Takenokuma, Y. and Mori, M.: Differences in Hair-Washing Metabolism Depending on Reclining Chair Type .....	47
Chikata, K., Kidou, Y., Yokoyama, F., Maruyama, S., Miura, M., Takenokuma, Y. and Mori, M.: Factors Affecting Hair-Washing Metabolism in a Half-Reclining Position in Winter .....	55
Mitsui, M.: The Comfortable Position of Parturient Women Evaluated by Finger- Tip Plethysmogram and Blood Pressure. ....	64
Kamo, E.: A Study on the Consciousness of Estrangement in the <i>Snapshots of A Daughter-in-Law</i> by A. Rich.....	70
Ishii, S.: The Antinomy of Freedom -The Problem of Freedom in Kant (I)-- .....	85
<b>Instructions to Authors</b> .....	107
<b>Editorial Notes</b>	

**Ann. Rep.**  
**Col. Med. Tech.,**  
**Kyoto Univ.**

**ISSN**  
**0286 - 7850**